

附表

安政 4 年	1857 年	大島高任、大橋で我が国初めての洋式高炉を建設。同年 1 2 月 1 日、出銑に成功。
明治 6 年	1873 年	釜石と小白浜に郵便局開局。釜石小学校創立。
明治 7 年	1874 年	官営釜石製鐵所の建設始まる。
明治 13 年	1880 年	工部省釜石鉄道（釜石港―大橋鉾山間）が開通。
明治 16 年	1883 年	官営釜石製鐵所が廃業。釜石で大火、600軒焼失。
明治 17 年	1884 年	田中長兵衛、釜石鉾山の再興に着手。
明治 19 年	1886 年	吹入 4 9 回で出銑に成功。高橋亦助の功績顕著。
明治 22 年	1889 年	平田村と釜石村が合併し、釜石町となる。
明治 29 年	1896 年	三陸沿岸に大津波が来襲。死者6,724人。
明治 44 年	1911 年	釜石鉾山専用鉄道（大橋―鈴子間）が開通。
大正 2 年	1913 年	釜石電気株式会社が開業。仙人峠で鉄索運搬開始。
大正 4 年	1915 年	岩手軽便鉄道（花巻―仙人峠間）が全通。
大正 9 年	1920 年	県水産試験場が宮古から釜石に移設される。町立釜石実科高等女学校が開校。
大正 13 年	1924 年	田中鉾山株式会社が三井の経営下となる。笛吹峠経由による釜石―遠野間の自動車運行始まる。
昭和 5 年	1930 年	昭和園グラウンドが開場。
昭和 8 年	1933 年	三陸大津波来襲、死者160人、行方不明243人。町立釜石商業学校が開校。
昭和 9 年	1934 年	釜石港が開港場となる。日本製鉄株式会社設立により日鉄釜石製鐵所が発足。
昭和 12 年	1937 年	市制施行、人口4万388人、世帯数7,700。須賀の埋立て工事、防波堤工事が完了。
昭和 14 年	1939 年	市立釜石工業学校開校。山田線全通。釜石駅開業。
昭和 16 年	1941 年	県立釜石中学校開校。太平洋戦争勃発。NHK釜石放送局がラジオ放送を開始。
昭和 20 年	1945 年	二度にわたる艦砲射撃を受け、死者700余人、重軽傷者327人、全焼家屋2,930戸、全壊家屋180戸。
昭和 22 年	1947 年	六・三制による新制中学校ができる。天皇陛下全国御巡行、釜石にお立ち寄りになる。
昭和 23 年	1948 年	アイオン台風で山田線不通となる。
昭和 25 年	1950 年	国鉄釜石線全通。日本製鉄（株）の分割により、富士製鐵（株）釜石製鐵所が発足。
昭和 26 年	1951 年	釜石港が重要港湾に指定される。
昭和 30 年	1955 年	釜石市、甲子村、鵜住居村、唐丹村、栗橋村の1市4村が合併。
昭和 32 年	1957 年	公共下水道工事始まる。橋野町高炉跡が国の重要文化財に指定。
昭和 33 年	1958 年	橋上マーケットが完成。75店舗が出店。
昭和 34 年	1959 年	仙人有料道路が開通。中妻地区土地区画整理事業始まる。平和都市宣言を決議。
昭和 35 年	1960 年	チリ地震津波来襲、被害総額6億3千万円。
昭和 38 年	1963 年	県立釜石北高等学校創立。釜石高等学校を釜石南高等学校に改める。住民基本台帳人口過去最高の92,123人となる。
昭和 39 年	1964 年	釜石が陸中海岸国立公園に編入。
昭和 40 年	1965 年	釜鉄社線が撤去、86年の歩みに終止符。
昭和 43 年	1968 年	十勝沖地震で6億円に及ぶ被害。市営プール完成。
昭和 44 年	1969 年	国道45号線石塚、鳥谷坂トンネルが開通。
昭和 45 年	1970 年	第25回岩手国体開催。富士製鐵と八幡製鐵が合併、新日本製鐵となる。公共埠頭が完成。
昭和 47 年	1972 年	勤労福祉センター完成。老人福祉センター完成。
昭和 48 年	1973 年	和山市営牧場の造成事業が始まる。特別養護老人ホーム「清風園」が完成。
昭和 49 年	1974 年	昭和天皇・皇后両陛下が全国植樹祭にご出席の途中釜石にお立ち寄りになる。
昭和 50 年	1975 年	釜石市民憲章制定。市の花・木・鳥も決まる。
昭和 51 年	1976 年	浜町で戦後最大の大火発生。
昭和 52 年	1977 年	新日鐵釜石ラグビー部、初の日本一となる。
昭和 53 年	1978 年	湾口防波堤の建設事業に着手。市民文化会館完成。公共下水道の処理開始。
昭和 54 年	1979 年	新清掃工場が完成。働く婦人の家オープン。

昭和 56 年	1981 年	新市民病院が完成。三陸鉄道株式会社が発足。
昭和 57 年	1982 年	湾口防波堤の第 1 号ケーソン設置。鈴木首相来釜。
昭和 58 年	1983 年	新図書館完成。市営釜石ビル完成。
昭和 59 年	1984 年	三陸鉄道開業。富山県朝日町と友好親善都市に。
昭和 60 年	1985 年	鉄の歴史館オープン。檜の木平牧場完工。釜石製鐵所第二高炉休止。新日鐵釜石ラグビー部、V 7 達成。
昭和 61 年	1986 年	非核平和都市宣言。釜石製鐵所創業百周年。
昭和 62 年	1987 年	東前町から馬田岬方面にかけて山林火災。市制施行50周年。全国勤労者釜石駅伝大会開催。
昭和 63 年	1988 年	国道 4 5 号釜石バイパス開通。
平成 元年	1989 年	釜石製鐵所の第一高炉休止。根浜サンドクラフトフェスティバル開催。放射性廃棄物の持込み等に関する宣言。
平成 2 年	1990 年	海洋バイオテクノロジー研究所オープン。釜石市総合振興計画策定。第 1 回はまゆりトリアスロン開催。
平成 3 年	1991 年	沿岸地区運転免許センター開設。新仙人トンネル国直轄事業に盛り込まれる。
平成 4 年	1992 年	三陸・海の博覧会主会場、大成功のうちに閉幕。3会場入場者数2,005,281人（釜石会場1,324,594人）
平成 5 年	1993 年	釜石信用金庫の解散譲渡。仙人峠道路新ルート決定。
平成 6 年	1994 年	仏・ディエヌ市と姉妹都市締結。鉄の歴史館新装オープン。岩手県水産技術センター開所。三陸地方拠点都市の指定。テレトピアモデル都市の指定。
平成 7 年	1995 年	仙人峠道路詳細ルート発表、管理用道路工事着手。
平成 8 年	1996 年	第68回選抜高校野球大会・釜石南高等学校が甲子園初出場。釜石駅周辺整備事業・物産センター「シープラザ釜石」完成。住民基本台帳人口 5 万人を割る。（平成 8 年 3 月末現在 49,729人）
平成 9 年	1997 年	全国豊かな海づくり大会で天皇・皇后両陛下来釜。新日鐵釜石、東北電力と電力供給契約締結。
平成 10 年	1998 年	新日鐵釜石、石炭火力発電所の建設に着手。バスサンデー号運行開始。いとさかしき坂路仙人峠道路起工式が行われる。
平成 11 年	1999 年	米軍機、橋野町の山林に墜落。インターハイなぎなた競技開催。新日鐵釜石、火力発電設備に火入れ。
平成 12 年	2000 年	J R 釜石線全線開通 5 0 周年。新日鐵釜石、火力発電所電力供給開始。
平成 13 年	2001 年	釜石シーウェイブス R F C 地域共生型クラブチームとして発足。
平成 14 年	2002 年	台風 6 号の記録的豪雨による大災害。松原町の土砂崩れで 2 人死亡。仙人トンネル本坑（4485m）が貫通。マイカル釜石店が 5 月末で閉店。
平成 15 年	2003 年	橋上市場が閉店、45年の歴史に幕。釜石港が国土交通省からリサイクルポート指定を受けた。三陸南地震により釜石で震度 5 強を記録。
平成 16 年	2004 年	釜石魚市場の03年度の水揚げ高は35年ぶりに30億円を割り込んだ。釜石市の高齢化率が 3 0 % を越した。トーマンパワー釜石が釜石市和山等に設置した風力発電施設が完成、運転を開始。
平成 17 年	2005 年	大渡橋の架け替え工事が完成。釜石南高と釜石北高の平成19年度統合が決定される。新日鐵釜石製鐵所の線材の累計生産量が2千万トン達成。
平成 18 年	2006 年	三大基盤整備の一つ、釜石港湾口防波堤が概成。「かまいし健康ルネサンス構想」が地域再生計画に認定される。
平成 19 年	2007 年	新仙人峠道路開通。釜石市制施行70周年・近代製鉄発祥150周年を迎える。
平成 20 年	2008 年	新青葉ビルオープン。釜石南高校と釜石北高校が統合し、新たに釜石高校が発足した。